



# 環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



創刊号 平成21年12月  
発行／環境公共推進会議事務局  
〒030-8570 青森市長島1-1-1  
青森県農林水産部農村整備課内  
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

## ■はじめに

このたび、「環境公共」に関する情報を広く発信するため、「環境公共通信」を発行することになりました。

本通信は、「環境公共」に係る話題や県内における取組のほか、参考となる事業、技術などのホットな情報をお届けします。

## ■「環境公共」とは

農山漁村に見られる豊かな自然や美しい景観、伝統的な風習、独自の文化などの地域資源は、その地で農林水産業が営まれ、地域コミュニティが存在してこそ保たれるものです。

県では、農林水産業が元気になる「生産基盤の整備」と地域の方々が快適な生活を送るための「生活環境の整備」を行う公共事業を「環境公共」と位置付けています。

「環境公共」によって、農林水産業を支え、地域全体の環境を守ること。それが、かけがえのない地域資源を将来に引き継いでいくことにつながります。

## 環境公共 で豊かな地域資源を将来に引き継ぐ



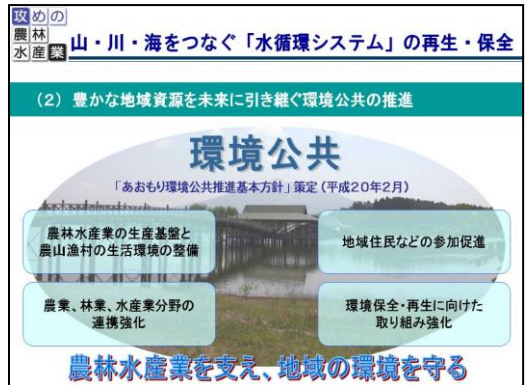
## ■最近の話題

### ～三村知事が 環境公共 について講演～

10月29日、立命館大学において、三村知事が「持続可能な社会を目指して」と題して、本県が進めている「水、食料、エネルギー」の取組について講演しました。

これは、全国の知事が大学で地方行政の現状や課題を語る「全国知事リレー講座」として行われたものです。

この中で、水を守るための取組として、森林の活力を回復する間伐や生き物の生息しやすい水田の整備などに取り組み「環境公共」の重要性を紹介しています。詳しくは、「環境公共」のホームページを御覧ください。



講演を聞く参加者

### ～平成21年度農業農村工学会東北支部大会～

10月29日、30日の2日間にわたり、青森市のラ・プラス青い森で「平成21年度農業農村工学会東北支部大会」が開かれました。

大会では総合地球環境学研究所の渡邊教授による「地球温暖化と農業・農村」の講演のほか、「地域づくりの新しいかたちーあおり発！環境公共の推進ー」をテーマとした(独)水資源機構広瀬水路事業部長による「水土を拓くー環境・公共・地域ー」の講演や「青森県における環境公共の取組」についての事例紹介が行われ、東北各県約340名の参加者へ、「環境公共」を発信することができました。

なお、事例については、次号以降で紹介していきます。

### ～環境公共コンシェルジュ育成研修を開催～

11月9日、県では第2回環境公共コンシェルジュ育成研修（現地研修）を開催しました。

環境公共コンシェルジュは、「環境公共」を推進する地域のリーダー・調整役です。9月8日に行われた第1回研修では「環境公共」の基本的な事項についての研修を行っています。

今回は17名のコンシェルジュ研修生が、森林整備事業や漁港整備事業、ほ場整備事業、魚道整備事業の現地を視察し、「環境公共」としての具体的な取組などについて学びました。

具体的な取組などについては、次号以降で紹介していきます。



森林整備（間伐）の状況を視察

### ～漁港関係事業等環境公共推進委員会を開催～

10月23日、漁港漁場整備課では、東青地方漁港漁場整備事務所において、第3回漁港関係事業等環境公共推進委員会を開催しました。

委員会には、各漁港漁場整備事務所担当者が参加して、「環境公共」の取組などの検討が行われ、今後の作業として、漁港関係事業における「環境公共」の取組や運用などを取りまとめる「漁港漁場整備版アクションプラン」を、平成22年1月中を目処に作成することとしました。

「環境公共」ホームページ：<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>